

議 事 録

会議名	令和元年度寒川町社会教育委員会議第3回公民館部会		
開催日時	令和2年1月29日（水）午後1時30分～午後3時50分		
開催場所	寒川町民センター1階展示室第2		
出席者名及び傍聴者数	出席者：三澤委員(部会長) 加藤委員(副部会長) 河村委員 平本委員 山口委員 事務局：長岡教育総務課長 山口教育総務課主査 小林教育総務課主査 指定管理者：別府町民センター館長 堂前北部公民館副館長 渡辺南部公民館副館長 傍聴者：2人		
議 題	報告事項 (1) 公民館事業報告・事業予定について (2) 委員報告 協議事項 (1) 令和2年度公民館事業計画(案)について (2) 「すべての世代がどう公民館を目指して～公民館活動へ導く情報発信・PR方法について」		
決定事項			
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 三澤部会長 長岡教育総務課長</p> <p>3. 議事録承認委員の指名について 河村委員・三澤部会長</p> <p>4. 報告事項 (1) 公民館事業報告（10月～12月）・事業予定（1月～3月）について（資料1・2） ・指定管理者から資料1・2説明</p> <p>【部会長】ただいまの説明に対しましてご意見、ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>【委員】小学生のことを絡めて様子を伺いたいのですが、まず資料1の町民センターの子ども映画会⑥⑦について、⑥が11人22%、小学生がいないとありますが、対象者が乳幼児期となっているので繋がらないので、何か理由があるのかということと、次の12月15日の映画会⑦は39人集まったとありますが、これは内容や様子はどうかというのを伺いたい。2番目は子ども科学教室③、小学校でも体験活動は大事にしていますが、定員10人で参加6人というので、内容と子ども達の様子を伺えたらと思います。3番目ですが、子ども科学教室④について、次年度から小学校でもプログラミング教室が必須で入ってきますが、どういうことをやっていくのかを考えているところです。具体的に会社に来てもらういきさつであったり、入れるものであったり、子ども達の様子であったり、そのあたりのことを伺えたらと思います。3番目に付随して北部公民館の子どもマイコンプログラム基礎教室も同じように、こちらは5名ですが、子ども</p>		

達の様子や内容をお聞きしたい。ちょっと高度であったとのお話がありましたが、このあたりをもう一步踏み込んでお伺いできれば助かります。よろしくお願ひします。

【指定管理者】子ども映画会は年代が乳幼児期となっておりますが、乳幼児、小学生の親子で参加してくれるような映画会です。青少年も対象なのですが、表記する年代を1つだけ選択し、両方かかないというルールのため乳幼児期を優先して記載しました。対象は乳幼児期から小学生ですが、たまたま10月20日の回は小学生がいなかったため、それもあり延べ人数が11人となっています。映画会はたいてい30人を超える人数が来るので、この回だけ少なくて、次の回からは通常の数に戻っています。小学校の行事が重なっていたのか、作品のセクションが悪かったのか、それ以外の理由があるのか大変申し訳ありませんが、究明できておりません。

それから子ども科学教室③④ですが、④のプログラミングから説明させていただくと、講師の富士電機 IT ソリューションさんが近隣の公民館をまわっていて、寒川町でもどうですかと飛び込みのような形でいらして、話をきかせてもらったことがきっかけです。公民館で子ども向け事業に来てもらうには有益な内容だと思ひまして、もともとはこちらからアプローチしたのではなく、富士電機側から投げかけていただきました。今回2回目で、昨年度は3Dプリンター体験で、参加者1人ずつのタブレットPCと3Dプリンター1台を持ち込んでいただき、小さなキーホルダーのデザインをつくる教室でした。その場では持ち帰ることができなかったので、デザインだけ作って、後日、3Dプリンターでそれぞれ成型した作品を参加者に渡しました。今年は車輪がついた前後左右に動くといったロボットをプログラミングしてそれぞれ動かしてみるという内容でした。参加者も多くて、参加者4人につき、講師1人という十分な体制で実施することができました。子ども科学教室③については館外学習で、私が随行しなかったもので、レポートにある話で申し訳ないのですが、自然を相手にした体験学習で、敷地内で食べられそうな草花を摘んだり、マッチを使って火おこし体験をしたりといった活動だったと聞いております。

【指定管理者】北部公民館でのマイコンプログラム基礎教室について補足して申し上げます。マイコンはマイクロビットという英国で始まった5cm×3cmくらいの電子基盤の上にマイコンといわれるコンピュータとBluetoothの無線機、加速度センサー、LEDが入ってしまひて、その基盤にプログラムを書き込むことができます。プログラム自身はマイコンで、ノートパソコン上でプログラムを開発して、基盤に書き込むとその通りに動くという仕掛けになっています。まずその説明をしまひました。ノートPC上でプログラムといっても、子どもが対象のため、本来プログラムにはプログラム言語が出てくるのですが、英国で開発されたブロックをつかうシステムがあつて、ブロックをはめ込んでいくとプログラムができあがるという仕組みで、例えば振るとLEDが点く、振るとモーターが動くという場合分けの設定ができています。簡単な課題を出してあげると、子ども達はそれを理解して、組み上げることができました。かなり手伝ってあげないといけなかったもので、最終的には自分たちで論理を考えて組み上げてほしかつたのですが、それは2~3時間では無理なので、練習題を用意して、部屋に投影した画面を見ながら、一つずつ作っていきました。4年生から6年生までを対象としたのですが、4年生にはちょっと難しかったようです。LEDでグーチョキパーを場合分けするという場合分けの意味が理解できないという子もいました。参加5人のうち4人は理解できていたと思ひます。1人の子は最初から難しそうだなという感じではありましたが、丁寧に説明すればわかると思ひます。

【副部会長】小学生対象ですよ。

【指定管理者】はい、小学4~6年生対象です。1人で教えるには5人が限界でした。課題を3つ用意しまひましたが、2つまでしかできませんでした。丁寧に教えていけないと本当の理解までにはつながっていないかもしれせん。教育用のボードもありますので、ただ単にワードやエクセルを使うのではなく、こういう原理でコンピュータは動い

ているということがわかるので、まずは小さなシステムがいいと思い実施しました。

(2) 委員報告

11月14日 令和元年度県社会教育委員連絡協議会地区研究会（小田原市会場）
加藤副部会長参加

【副部会長】参加して印象に残ったことですが、大人の学びとして、地域資源を活かした生涯学習プログラムというのがあり、小田原の市民学校で2年制をとって、1年目は小田原の魅力を学んで、郷土愛を育む勉強をし、2年目はサポートが必要な人を支援する、子どもを見守る、地域の文化力を高めるなど8分野に分かれて、自分に合った分野を選択して、勉強するそうです。それを終えて3年目から実践して活動していくシステムだそうです。3年目で実践は長いかなと思うのですが、いろいろな公民館で趣味を活かしてサークル活動をする方法もありますが、このように勉強の場を与えてもらいながら、これまでとは別の自分を活かすことができるというのがいいと感じました。年を重ねても大人が学び続け、アクティブに生きて、学び、活動するサイクル、大人が地域を誇りに思い、仲間をつなげ、遊び働く地域の学びを次世代に続けていくというシステムを小田原市は大事にしているところが感心しました。寒川でもいろいろな分野で学ぶ、実践するというのもあると思いますが、小田原市のように何年かを要してやっていくというのも、とてもいいことだと思いました。

1月17日 第61回神奈川県公民館大会（愛川町会場）
山口委員参加

【委員】愛川町での県の公民館大会に参加しました。テーマはこれからの時代に求められる公民館像ということで、新しい時代における公民館の姿を考えていく必要があるということから、公民館をネットワークの拠点とした新しい「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を展開するために子どもたちを中心とした地域社会との協働活動にどうかかわれるのかということで、基調講演がありました。その中でとくに学校とのかかわり、公民館を拠点として学校を核として進めていくために、学校と公民館が仲良くなって地域づくりをしていこうということでした。その中で「いい学校はいい地域をつくる。いい地域にはいい学校がある」という言葉が非常に印象に残りました。公民館と地域社会が繋がって、地域全体で子ども達にかかわっていくために、公民館の役割がこれからは大切だと感じられました。事例発表の厚木市の森の里公民館では、学校とのかかわりを平成17年頃から試験的に行ってきた、学校と話し合いをもっているそうです。公民館の方が言っていたのですが、両方がWin-Winの関係でやっていこうと10数年続けてきたということで、非常に先進的で先を見越した事例で予算なども含めてよくここまでできたなど感心させられました。寒川では公民館の活性化で公民館の中だけのことを考えて進めていますが、これからは学校と公民館が仲良くなって子ども達を育てていこうとなっています。校長先生がいる前ですが、学校と公民館が協力するという場面では学校が協力していただかないと前に進まないと思いました。自分も教員をしていたので、なかなか進まないのもわかるのですが、学校関係者が生涯学習推進員の一人として公民館を理解していただく、公民館も学校のことを知らないといけませんので、連携がもっと大切ではないのかと思います。逆に今、教員の働き方改革で、教員が学校の外に出て活動することが難しく、学校の中だけの仕事で手一杯なのもありますが、生涯学習や公民館に足を運ぶということも大切なのかなと思いました。寒川に限らずどこの地域でも同じですが、難しい課題だと思いました。これからはこういうことをやっていかなければならないのかなということが感想です。

5. 協議事項

(1) 令和2年度公民館事業計画(案)について(資料3)

・指定管理者から資料3説明

町民センターNo.24は「終戦から四半世紀を迎えて」
→「終戦から75年を迎えて」に訂正。

【委員】一点だけ質問をします。各館共通でサークル入会体験フェスタがありますが、今年度は6月と11月でしたが、来年度は4月と10月に早まっているのは、部会で考えているテーマに沿って早めたのでしょうか、その辺りの意見をお願いします。

【指定管理者】サークル入会体験フェスタを6月と11月にやってきていましたが、年々参加者の数が減ってきていることがありまして、時期も6月が中途半端で年度の切り替わってすぐの方が効果はあるのかなと考え、時期を前倒してやろうと思っています。今回は折り込みもありますので、見てすぐに参加できることも考えました。

(2)「すべての世代がつどう公民館を目指して～公民館活動へ導く情報発信・PR方法について」(資料4)

・事務局から資料4説明

【部会長】ただいまの説明に対しましてご意見、ご質問はございますか。利用ガイドの話でもいいですか。

【事務局】はい、構いません。利用ガイドについては、机上配布したものは、素案のたたき台で、これから委員の皆様から意見などをいただいて、あらためてデザインを依頼していく予定です。また発行時期についても5月の連休明け頃にしてはという話もありましたので、公民館の館長、副館長と検討したのですが、やはり新年度スタートとなる4月すぐが良いのではないかということで、広報4月号に挟み込みを予定して調整を進めております。

【指定管理者】補足して説明します。各公民館だよりについて、前回の会議で各館のフォーマットが統一されていないことや、色についてご指摘いただきました。今日も従来の形式で資料として出しておりますが、まだ結論は出ていないのですが、公民館だよりを紙面の構成や窓口以外での配布方法を検討しております。中身をそろえることや、数を増やして全戸配布をするなど、今の形では不十分だということは認識しております。今回、利用ガイドを広報の折り込みで出せるので、この後に続けられることができるように、方法を検討していきます。

【部会長】4月1日ということは3月末に配布されますか。

【事務局】はい、3月末から配布されます。

【部会長】地図が小さいことと、分室に寒川小学校を入れておいた方がいい。

【指定管理者】今回はまだ掲載する中身の確認なので地図のレイアウトは大きく変更できます。

【委員】とくに公民館を利用していない方を対象ということで、小学生とか親子はある程度すでに参加しており、中学生、高校生は学校が忙しいからあまり公民館には来られない。定年前の働いている人も時間がないので、なかなか来られない。スタートとしては退職した人を対象にしてPRしましょうということなので、その辺りのことを言葉でも、公民館事業でも、膨らまして盛り込んではどうか。暇だから参加してみようという気になるか、難しいですけどもね。そういったことをもっとPRしてもらえるといいのかな。レイアウトは写真を載せたりして考えてもらえるとと思いました。作るのは非常

に難しいと感じます。時期的にはいつがいいのか難しいのですが、退職してほっと一息して、4月はゆっくりしていたいというのもあるから、暇になって、5月からでもいいかなと思います。他の皆さんに時期はつがいいか参考にした方がいいと思います。

公民館だよりが各館ありますが、私は各館違う方が個性があつていいと思います。生涯学習に関わっている部分もあり、目立ち方も各館工夫しています。入口にたくさんチラシがあるので、何がなんだかわからないようにもなりますが、私はこのままでいいと思います。町役場には置いてありますか。

【指定管理者】各公民館と図書館には配布していますが、町役場庁舎には置いていません。

【委員】役場庁舎に置いた方がいいと思います。

【事務局】本庁舎であれば、初めて寒川に来た人は手に取っていただける機会にはなりますね。

【委員】役場にはいろいろな用事で来る方もいるので、公民館だよりを置いていただけるといいと思う。ガイドの配布時期は皆さんの意見を聞いてください。

【事務局】サークル入会体験フェスタを先ほども時期を例年とは変更して4月10月とさせていただいたのですが、今年度の11月のフェスタは参加者がちょっと少なかったことが見直す一因でした。寒くなると皆さん何か始めようという気力もなくなるのかもしれないので、時期を早めようかと。皆さんが参加したくなるような時期となると4、5、6月頃だとは思いますが。

【部会長】配布する時に他のチラシが少ない時期がいいね。読んでもらえなくなる。

【事務局】4月もそれほど多くはなかったと思うのですが、広報戦略課でも月で偏りがないように時期は調整するとは思いますが。

【部会長】広報の他にも、一緒に宣伝広告が挟み込まれていることもありますね。

【事務局】最近広告は増えてます。さきほども公民館だよりも窓口で配るだけではなかなか手に取ってもらえないので、広告費をとって挟み込みをやってみようかという意見もあったのですが、1枚2円×20,400部とかなり費用がかかることと、広報を見ない方は広報に挟み込まれているものも見ないのかもしれないということで、別のチャンネルを使ってはどうかという意見も出ました。例えば新聞折り込みはどうか、タウンニュースをご覧になっている方は公民館利用者とリンクするところがあるので、タウンニュースに広告を出すのはどうかという案も出ました。

【委員】今は新聞をとってない人も多いですね。

【事務局】タウンニュースは役場や公民館に置いてあることもあって、掲載されるとそれなりの反応はありますが。

【副部会長】内容が身近だから、知っている人など出ていたりするので、読んでいます。

【事務局】タウンニュースを読まないような方にも公民館に接点を持っていただきたいとは思いますが、そのためにはどうしたらいいのかなとは思いますが。

【部会長】今回は広報に挟むのですよね。

【事務局】 はい、まずは広報に挟み込みをしてみます。広報の冊子とは別になります。

【部会長】 費用はかかりますか。

【事務局】 今回は、広報戦略課に年間予約をしているので、かかりません。回数の確認をしていないのですが、おそらく年何回も同じような便りは挟み込みできないと思います。挟み込む費用は広報戦略課の予算で持っていると思います。

【部会長】 タウンニュースに挟み込んでもらってはどうか。

【事務局】 そうなると他の広告と同様に1枚何円という費用がかかります。

【指定管理者】 タウンニュースも無償で記事として取り上げてくれることもあるのですが、紙面に余裕がない時でないとは確実にではないこともありまして。紙面に広告枠として買うという方法もありますので、毎回でなくても公民館事業をPRするということができます。

【事務局】 また公民館を普段使っている方は利用方法をご存じでしょうが、使ったことがない人に向けて、まずはどうすれば使えるのかわからないと思うので、サークルの定義は何かというのがあります。指導者が生徒を集めたいから公民館の部屋を申請したいというはできなくて、学びたい人が集まって指導者を呼ぶという場合はできるというようになっています。よく公民館窓口で指導者の方が飛び込みで来られる方もいるので、さきほどのプログラミング講座のように、まずは講座をやってみませんかとマッチングすることもあります。そこからサークルに繋がることもあります。そういう定義があるとわかりやすいのかなとは思っています。

【部会長】 これを載せるというのはもう決まっているのですか。

【事務局】 いえ、委員の皆様からも意見をいただきたいので、掲載ないようはまだ確定ではありません。このようなものはいかがでしょうかという段階です。

【部会長】 よければ載せるということですか。

【事務局】 はい、そこから紙面のデザインに入ります。

【部会長】 時期的にはいつにしますか。

【事務局】 今は4月1日でどうかと考えております。

【委員】 これは白黒印刷ですか。

【指定管理者】 カラー印刷にします。表紙は目立つように。

【委員】 保存版という言葉は効いていると思います。ゴミの分別なども保存版と書いてあれば、保存しておかなければいけないと思うので良いです。活動している写真がもっとあるといいですね。

【指定管理者】 写真はまだ増やします。

【部会長】 時期はいつがいいですか。

【委員】 やっぱり4月がいいのではないですか。サークル入会体験フェスタもあるので。

【部会長】仕事やめてから家で数か月ゆっくりしてからよりもすぐ動いた方がいいかもね。

【事務局】ターゲットは退職したばかりの人にアピールしようと思います。

【委員】4月に体験フェスタがあるので、4月がいいとは思いますが。フェスタの開催をもっと目立つ部分に載せてほしいのと、表紙がちよっと硬い。公民館ご利用ガイドというのも。今はすぐ思い浮かばないけどもっといいネーミングがあれば。

【事務局】公民館へ行こう！というようなキャッチコピーでしょうか。

【委員】すぐには思いつかないのですが、公民館はこんなところとか、公民館へ行こうとか。

【部会長】公民館へ行ってみましょうとか。

【事務局】見ている人に呼び掛けるようなコピーで。形状としてはA3の2つ折りでこれが表紙となる予定です。縦型にするか横型にするか。

【副部会長】表紙が変われば印象も変わると思います。

【事務局】総合体育館でも新聞折り込みで広告を入れていて、A3縦型でスポーツ教室の紹介をしていました。この形もいいと思ったのですが、公民館窓口に配架するときA4横型よりA4縦型の方が置きやすいというのがあります。

【副部会長】最後のページですが、ここまで各館の部屋の名前や定員など細かいことまでは必要ないのではないですか。どんな規模か知りたいですかね。

【事務局】確かに機能回復室10人と書いてあってもイメージはわきにくいと思います。何の部屋かわからない。

【副部会長】公民館の名前と連絡先、やっている時間帯でいいのでは。

【事務局】使用料は気になる点かもしれませんが。無料なのか有料なのか。下の方に小さな字で書いてありますが。申し込み期間とかは次の段階なのでここではあまり必要ではないのかもしれませんが。

【事務局】公民館の事業予定を先ほど全部お出ししておりますが、掲載するのはこの事業でよいのかというのがあります。他の講座の方がよいとか。

【部会長】講座に参加するのは無料ですと書いてはどうか。

【事務局】それは講座によって違います。材料費がかかるものもありますので。基本は無料のものが多いですが。

【指定管理者】ものづくり講座や料理の講座で持ち帰るものや口に入るものは材料費がかかります。

【副部会長】材料費よりも、公民館に行こうと思った場合は連絡をしてもらうと思うのですが、そこで説明をするのか、このように詳細が書かれたものをお渡しするのか。思い立った時に渡せるものがあるといいと思います。

【部会長】初めて参加する人も公民館を使うには使用料がかかるのかと思ってしまいかもしれない。

【事務局】施設の使用料は無料であることをもっと全面に押し出していった方がいいですか。

【部会長】講座などで使用する時は無料であるとか、ただし部屋を使う場合は有料だとか、初めての人にはわかりにくいかもしれない。

【指定管理者】表紙に公民館の使用料は無料ですと入れておいた方がいいですか。

【事務局】公民館で活動するにはどれくらい費用がかかるものかわかるといいということでしょうか。

【委員】サークルは会費を取って活動しているところがほとんどですよ。部屋の使用料は無料でしょうけど。

【指定管理者】ほとんど会費を取っていますね。

【指定管理者】講師を呼んでいれば講師料がかかりますから。

【委員】習う人も全く無料であるとは思わないのではないのでしょうか。

【委員】費用も大事かもしれませんが、もっと公民館に来てくださいというところを前面に押し出した方が私はいいと思います。来てみたら、何かをやるには当然お金もかかるというのもわかるので、公民館の使い方よりも事業をもっと増やした方がいいし、健康だとか項目を入れて紹介した方がいい。分野もうまく載せてほしい。年代も必要かもしれません。詳しくは広報さむかわをご覧くださいと入れて。サークル入会体験フェスタはもっと目立つところに入れて。何しろ公民館に来てくださいということアピールするものを作ってほしいと最初から願っていたこともあるので。

【副部会長】体験フェスタを表紙に持っていてもいいと思います。

【事務局】総花的に行くよりも、目的を絞った方がいいと思います。いろいろなことを言いたいけれど、体育館のチラシも結局は「運動を始めよう」と一本に絞っています。定期的に運動したい方、運動不足の方と呼び掛けています。あと広報というのは何でも3Bというのがあって、ビューティ、ビースト、ベビー、きれいなもの、かわいいもの、動物は目をひくので入れるという方法があります。体育館のチラシはこれを踏襲していると感じました。公民館のチラシでまず言いたいことは4月に体験フェスタに来て公民館を体験してほしいということで、入門編があることを表紙に載せて、中面には実はいろいろあることがわかるといい。

【副部会長】4月にまずそれを出すのがいいと思います。

【事務局】おそらく10秒見てもらえれば御の字だと思います。そこで気に留めてもらえば、読んでもらえる。あれもこれもではなくて、公民館へ行ってみよう、まずは体験ということアピールできれば。

【委員】インパクトは大切ですね。

【副部会長】目を引くものが表紙にあるといいですね。

【委員】 これを作る流れはどうなっているのですか。ここで意見を出して、4月に発行するとなると、紙面構成の部分はこの会議には戻ってこないということですか。

【事務局】 はい、今いただいた意見を参考に公民館で紙面の内容やデザインを作っていきます。今までの会議の意見を経てこの保存版ガイドを発行するという方法になったので、紙面づくりは公民館で行うこととなります。

【委員】 そうなると、ぜひ複数の目で出す前に確認をしていただきたいです。また2ページ目の星印の部分の主旨は修正した方がいいと思います。

【事務局】 伝わりやすい文章となるように見直します。

【委員】 ここの囲われている部分はいらなかもしれません。これは公民館サークルを作る場合の話なので。サークル入会体験フェスタで初めて公民館に来る人には必要がないと思います。

【事務局】 公民館の使い方の話なので、最終頁に掲載した方がいい内容なのかもしれません。個人には部屋の貸し出しはしていないということもありますので。

【委員】 各公民館ではこのような活動をしています、できますということを入れては。細かく見るとあちこちありますね。個人の意見ですが。

【副部長】 サークル活動は営利を目的としていないとのことで、教える講師は高額の謝礼にはなっていないのですよね。

【事務局】 その辺りは会員の多い少ない、高いレベルの指導者を招きたいという場合で、サークルの会費が高くなることはありえます。

【副部長】 それはサークルの会員が納得していれば自由ですよ。

【事務局】 会員の了解が得られていけば構わないと思います。それなので会費はいくらまでならばOKという金額の基準は出しにくいですが。ただし、毎年度利用者の会に登録する際に月会費は明記してもらって、公民館側は各サークルの月会費がいくらくらいなのかは把握しています。

【指定管理者】 明確な金額の定義はないのですが、サークルの会費によって講師が生業を得ているレベルになってしまうと、おかしくはなりますが、金額は1万円が高い、安いという基準はないです。

【委員】 もう一点、些末なところですが、私は昨年からの会議に出させてもらって、公民館だよりなどいろいろ出されているのはいいと思っています。ただし、文字がドットのようになって読みにくいのですが、これは何か理由がありますか。それを一緒に学校でも気を付けているのですが、写真はカラーでいいのですが、文字にあまり色を使うと読みづらいのと、読めない人もいます。バリアフリーでユニバーサルデザインを取り入れていただくと、公のところに置くものなので。だから2色にした方がいいとは思いますが。

【指定管理者】 色は2~3色がいいでしょうか。文字色が多すぎると読みにくいということですね。

【委員】 あとはフォントのバリエーションも多すぎると読みにくいです。学校でもできる限りユニバーサルな活字を使っていこうということにしています。

	<p>【事務局】私も前回の会議での意見や、今年度は人権研修会でディスレクシアという識字障害のある人の話題を聞き、子どもだけでなく大人になっても識字障害のある人は結構いらっしゃるということを知りました。それ以降、文書を作る際にはなるべくユニバーサルデザインの書体を使うように心がけています。また色遣いも弱視の方や色覚障害の方に優しい色づかいというのも気を付けたいと思います。公共の印刷物は多くの方が目にするものなので、誰にでも優しくあることを配慮したいと思います。</p> <p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の会議開催予定について ・ 第2回社会教育委員会議 (2月12日町民センター) ・ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (2月19日厚木市文化会館) 青木委員・仲田委員 出席予定 <p>7. 閉会</p> <p>加藤副部長</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 令和元年度公民館講座事業実績 (10～12月分)</p> <p>資料2 令和元年度社会教育行事予定カレンダー (1～3月分)</p> <p>資料3 令和2年度町民センター・北部公民館・南部公民館事業計画一覧表</p> <p>資料4 すべての世代がつどう公民館を目指して</p> <p>資料5 公民館だより (3館)</p> <p>当日配布資料 保存版寒川町公民館利用ガイド (案) 研修会等参加報告書</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・河村卓丸 ・三澤 勇</p> <p style="text-align: right;">(令和2年3月16日確定)</p>